



しょう てる お
生野 照 雄

清風クラブ

質 地域づくり計画協定書の調印が行われた地域振興協議会の協働による地域づくり活動の現状や、若者が少なく高齢化率の高いこの地域の今後の課題は。

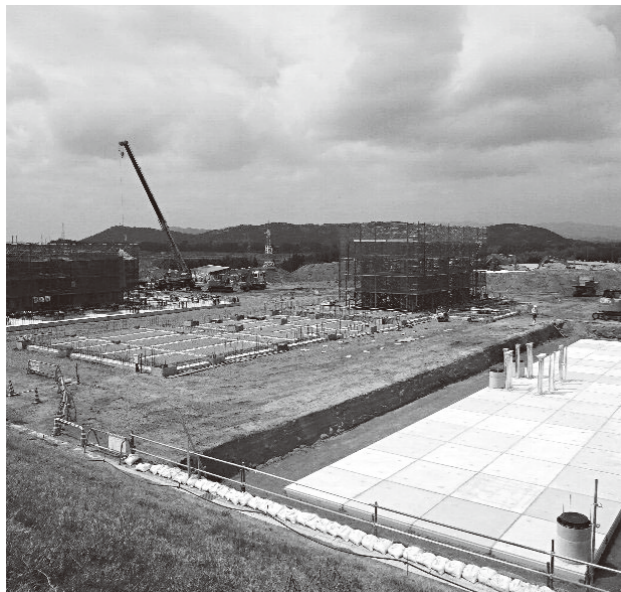
答 まちづくり推進課長
地域づくり事業に係る協働協定書が締結された大野町土師、緒方町長谷川、三重町松尾鷲谷、各振興協議会のそれぞれの課題は高齢化率67・6%、80歳以

上が約40%の地区や、地理的に町中心部から遠い地区、災害時の避難体制に不安がある地域などがあり、地域支援員による全戸訪問を行い、1人暮らし高齢者の把握、災害時の体制づくりや買い物支援、サロンの実施等により、地域の活性化に努めています。

質 豊後大野市が誘致した木質バイオマス発電の廃熱利用と周辺の環境整備について問う。

地方創生は林業から

～地域総合戦略で検討～



建設中の木質バイオマス発電所（三重町）

答 市長
昨年、発電事業者から、市に対して発電時に発生する温水と蒸気などの副産物を無料で提供との提案をいただきました。
温水の利用はボイラーの温度を一定に保つため約80トンの水が循環し利用可能です。また、蒸気タービンの安全弁からは600度近い蒸気が排出されま

す。これを利用すれば
温水と蒸気の両方の利用が可能です。課題もありません。
廃熱の有効利用と周辺の環境整備は、民間事業者のご意見もいただきながら、国のまち・ひと・しごと創生長期ビジョンに基づく地域総合戦略を視野に入れた検討を行います。

どうなる地域づくり

事業説明しながら推進

安心安全な給食を

～ 新たなマニュアル作成、万全な注意払う～



え とう ち よ こ
恵藤 千代子

市民クラブ

質 第二期集中改革プランの中で、調理業務の外部委託を計画しているが、安心安全な給食の提供は確保できるか。

答 教育長
外部委託は県内でも既に5市2町が実施しており、民間企業などの衛生管理技術は確立されていると理解しています。

実施時期は内部協議の段階ですので、具体的な期限を明らかにするまでには至っていません。

質 食育の推進強化と栄養教諭の配置を県へ要望を。

答 教育長
平成25年度から、本市独自の取り組みとして、食にTRY事業を始め、学校栄養職員が学校に出向き、食育授業と給食指導を行っています。栄養教諭の配置は、現在強く県へ要望しています。

平成25年度から、本市独自の取り組みとして、食にTRY事業を始め、学校栄養職員が学校に出向き、食育授業と給食指導を行っています。栄養教諭の配置は、現在強く県へ要望しています。

質 市内の「ひきこもり」、「※ニート」の推計人数は。

答 市長
それぞれ1000人超えると推計されます。

質 4月から生活困窮者自立相談支援法が施行され、自立相談事業が実施される。相談しやすい体制づくりと相談者にはきめ細やかな対応を。



市役所1階社会福祉課に窓口設置

ニート=就学、就労、職業訓練のいずれも行っていないことを意味する。

ひきこもりの方の支援を

市役所1階に相談窓口

答 市長
この事業はひきこもりの方も支援の対象となります。庁内の関係部署との連携体制を構築、保健所やハローワーク、民生児童委員

等とのネットワークを充実させ、自立生活のためのニーズに応じた支援、継続的な見守りを行っていきます。